

# ギリシャ エーゲ海航路

## ミノアンラインおよび元太平洋フェリーきそ乗船記 近藤貴行

2024 年 10 月に、ピレウスからエーゲ海のクレタ島イラクリオンまで往復乗船。行きはミノアンラインの、クノッソスパレス Knossos Palace に乗船。ミノアンラインは、国内航路はこの航路しか運航していないようだ。2001 年にフィンカンティリで建造されたこの船は、会社の HP によれば全長 214m、幅 26m、総トン数 36800 トン、速力 29 ノット、キャビン 231、リクライニングシート 168、乗客定員 2500 名（船内の表示には、キャビンのベッド数 644 で定員 1898 名）となっている。いずれにせよ、席なしの乗客の定員が 1000 名以上ということになる。

帰りは元太平洋フェリーきそ（1987 年三菱重工建造）である、現ニッソスロドス NISSOS RODOS に乗船。きその日本時代の要目は、総トン数 13900 トン（国際総トン数 31000 トン）、乗客定員 850 名、1 等以上のキャビン 62 室。現在の定員は 2210 名と 2.6 倍に激増しているが、キャビンは 98 室に増えたに過ぎない。これは 2011 年に就航した、現いしかりの 147 室と比べてもかなり少ない。ニッソスロドスは、アネックライングループのヘレニックシーウェーに所属している。

クレタ島はエーゲ海最大の島のため需要は高く大型船が就航しているが、乗船時間は約 9 時間で、日が暮れてから乗船、日の出（7 時 40 分ごろ）前に下船と船旅を楽しむには少し物足りない。私が利用したときは、クノッソスパレスときそが全く同じルートを出港は同時刻、入港は 30 分差と並行して走っていた。またクルーズ船でいえば、地元のセレスティアルのエーゲ海クルーズは、年内は 10 月下旬までだから、季節的にもシーズンは終わりになる。

現地には日帰りとし、日中はイラクリオンからバスで 30 分ほどの距離にあるクノッソス宮殿跡の遺跡を見に行つた。イラクリオン港には、トイレ売店や待ち合い室などいっさいなく、タクシー乗り場にもタクシーは止まっていなかつた。また周辺にも荷物預かりやレンタサイクルなども見なかつた。

#### ・ミノアンライン

##### ① 予約・乗船

フェリーの予約サイトからの予約。ミノアンラインはインサイド 4 人相部屋とリクライニングシートの料金はあまり変わらず、相部屋を選択。21 時出港、6 時 30 分入港。チェックインはスマホから行い、2 時間半前から乗船開始。

乗下船は、徒歩客も含めて後部ランプから。週末だが、かなり空いていた。徒歩客に対しては、席なし客対象だろうが、乗船前にスーツケースなどをトラックに積み込み、身軽に乗船出来るようにしていた。また車両甲板にも、荷物置場を設置していた。徒歩客は 3 階の車両甲板レベルから乗り込み、エスカレーターで登るのはこの船も同じ。ただし下船時は階段のみ。車両甲板には、通風用開口がある。

##### ② 旅客設備の配置

8 階、7 階、6 階が旅客設備。9 階にはディスコバーがあつたが、船内の案内板には表示が消され施錠されていた。

8 階 屋外プール、プールバー、リクライニングシート席、キャビン、ヘリポート

7 階 キャビン

6 階 アラカルトレストラン、カフェテリア方式レストラン、シート席、チルドレンコーナー、ショップ、スナックバー（303 席）、レセプション、ショーラウンジ。シート席は座席券が不要な簡素な席で、もともとゲームコーナーがあつたのを変更しているが、ざこ寝客を少しでも減らすための設置だろうか。

船内にはいっさいカーペット敷がないため、少し高級感には欠ける。

③ 乗組員

全てギリシャ人のようだ。レストランも含めて男性が多い。

④ キャビン

ワンナイトとして、充分な広さ。水まわりも含めて清潔が保たれていた。ただしカーペット敷がないため廊下の足音が気になる。またエンジンの振動がかなり大きいため、後部のキャビンは気になるだろう。犬舎は空いていたので、犬はキャビンだろう。

⑤ メンテナンス

メンテに関しては、あまり良いとは言えないかも知れない。廊下の床がデコボコしている、外部デッキにサビが見える、パブリックトイレのカギが閉まらないなど。トイレについては、小便器がないので不便。また甲板員はヘルメットなしで作業していたので、多少意識の面で低いところがあるかも知れない。（もっともギリシャではバイクを運転するのに、ヘルメットをほとんど被っていない）

⑥ 外部デッキ

屋外プールがある。乗船客の投稿した YouTube を見ていると、昼間航行している場面があるので、オンシーズンなど寄港地を増やしたりコースを変更しているのかも知れない。6階のボートデッキには、ボート部分のみだが外に出れる。

⑦ レストラン

営業時間は、20時～22時30分。カフェテリア方式レストランを利用したが、値段は高くないものの、味は今ひとつ。

⑧ バー・ラウンジ

船内にカフェと称する施設はなく全てバーになっているが、パンなどカフェメニューが多い。入港が朝早いからかほとんど酒を飲んでいる人はいない。またソファでは席なし客が多数寝ている。船内でもっとも大きなショーラウンジには、小

さなステージもあるが、スーツケース置場になっていた。ショーラウンジは船尾にあるが、かなりエンジンの振動が気になった。

船内中央にあるスナックバーは席数 303 とだったので、ショーラウンジと合わせパブリックスペースの全席数は、700～800 程度であろう。

#### ⑨ ショップその他

日用品が多い（子ども用おもちゃ、本、服など）。船ファンが欲しがるようなオリジナル品はなかった。

#### ⑩ 下船

定刻より少し遅れて入港、下船。夜まで出港は無いはずだが、早速船内清掃、ベッドメイクを始めていた。クノッソスパレスの隣には、セレスティアディスカバリー（コロナ前まではアイーダの 4 万トンの船であった）が着岸していた。ただしクルーズ客船とのあいだには、フェンスがあるため行き来はできない。

### ・きそ（ニッソスロドス）

#### ① 予約・乗船

アネックラインの HP からネット予約。アネックの HP の場合、国内航路は少わかりにくく航路を選択する際、片道、往復、島巡りの 3 つのうち島巡りから入る。今回はインサイドで予約したのだが、なぜかアウトサイドキャビンにランクアップされていた。

チェックインは乗船前にスマホから行う。出港 3 時前に乗船。（それまで港のゲート自体閉まっていた）

ミノアンラインときそは、全く同じルートをほぼ同時刻に運航しているが、どちらのお客さんが多いかよくわからない。

#### ⑪ 車両甲板

車両も徒步客も後部ランプから乗下船。きそには船尾近く両側にサイドランプがあるが使われていない。船尾ランプの横に徒步客用のランプを新設、車両甲板レベルからエスカレーターで上がる。今回は車両・乗客・徒步客とも少ない。貨物も少なく、ヘッド無しのトラックが中心。前側のランプも、残っているが使われていない。大型車両は、船内で方向転換できないためバックで乗船する。ランプのスロープ（扉）は、ヨーロッパの方が日本より車両が大型だから造り変えてい るだろう。

## ⑫ 旅客設備の配置

旅客設備自体は、日本時代 B、C デッキ→現在 8、7 デッキの 2 層なのは同じである。また乗組員区画として 10 デッキが増築されている。キャビン数は、わずか 98 室。他にリクライニングシートはあちこちにありどれが有料の席か不明。シート数自体はかなりあるが独立した部屋ではなく、全て通路に面しているため熟睡は難しい。

各デッキは、

きそ時代 A デッキ→現在 9 デッキ

- ・前方 きそ時代 展望室→現在 乗組員区画
- ・乗組員区画～煙突の間 お正月クルーズで餅つきをしていた場所だったか→屋根を設けてグリル ただし閉鎖されていたので、多客期のみの営業だろう。

B デッキ→8 デッキ

- ・前方 きそ時代 スイートルーム、特等キャビン（アウトサイド）、ミーティングルーム（2 等大部屋）、売店、案内所→現在 キャビン、売店、案内所。ミーティングルームがインサイドキャビン 20 室になっている。アウトサイドキャビンは、きその部屋割のままだ。案内所前の階段は、きそと変わっていない。
- ・中央 レストラン、宴会場（2 等大部屋）、スタンド（軽食）、左舷に展望通路→バー、リクライニングシート、カフェテリア方式レストラン、展望通路。

・後方 ショーラウンジ→シアター。ステージはきそから変わっていない。またカワイのピアノもそのままだろう。きそでは毎晩のショーの時以外は使われていなかったが、現在は一画にカフェがあるので常時人がいる。シアターの後部のオープンデッキには、屋根と透明な壁を設けてテーブルと椅子を並べてカフェのドリンクを楽しめる。

煙突の両側に救命ボートを搭載するため、7デッキと合わせハウス部分をへこませているのが、大きく変わった点だ。

#### c デッキ→7 デッキ

・前方 アウトサイドの1等およびインサイドの2等寝台→キャビン。アウトサイドキャビンは、きそと部屋割は同じ。2等寝台の場所にインサイドを18室新設している。

・中央 アウトサイドの1等、インサイドの2等寝台、ゲームコーナー、ミニシアター、大浴場→アウトサイドキャビン、シート席、バー。大浴場前のエレベーターは、当時のままだ。

・後方 2等、2等寝台、ドライバールーム→シート席。

現在の総トン数は不明だが、10階を増築して8階7階のボート部を減築しているので、あまり変わってないように感じる。またキャビンは98室なので平均3名定員とすると300名分のベッドしかない。乗客定員2210名のうち1900名は、シートもしくはシアターのソファ及び床に雑魚寝となる。船内を見て思うのは、シートをとにかく増やせるだけ増やし、ピーク対応を図っているように感じる。特に7階のかつてのエントランホールの後ろは、全てシートになっている。10月中旬でも船内はかなりゆったりしているので、日本の北海道航路のようにピーク時とそれ以外の差が激しいのではないか。また近年の日本ほど個室志向が強くないのだろう。ただ料金は、インサイドキャビン177ユーロに対して、席なしは37ユーロとかなり差はある。

#### ⑬ 乗組員

全てギリシャ人のようだ。レストランにせよレセプションにせよ女性は少ない。

下船前には、船内清掃やベッドメイクを乗組員が行なっていた。

#### ⑯ キャビン

インサイドキャビンで予約していたが、8デッキのアウトサイドキャビンにアップグレードされていた。かつての特等和室だった部屋のようだ。ミニバー付き。かなり日本船の面影が残っており、バスタブは完全にきそのものだ。

#### ⑰ メンテナンス

1987年建造で、キャビンは古さを感じるが、パブリックスペースはきちんと手入れされている。エンジンの振動は、きそ時代からかなりあったと思うが現在もかなり感じる。私のキャビンは、前方のレセプションの横だが振動は伝わってきた。

#### ⑱ 外部デッキ

きその時と同じだと思われるが、乗組員区画の9デッキは、ぐるりと一周することが出来る。

8デッキ、7デッキは、救命ボートを載せるために煙突まわりを大きく改造しているが、後にハウスを伸ばしているように見えない。飲食をオープンエアで楽しめるよう、雨風よけのための天井と透明なカベを設置しているが、室内ではない。

#### ⑲ レストラン

カフェテリア方式のレストランのみの設置。場所はきそのレストランと同じだが、スペースはかなり小さくなっている。メニューも日本のフェリーのカフェテリア方式に比べると少ない。バーでもパンやピザなど軽食は売っているが、定員が2.6倍になっているから夏は長蛇の列だろう。

#### ⑳ カフェ、バー、ラウンジ

ラウンジは、きそ時代からの 1 力所のみ。きそでは独立した部屋になっていたが、通路から直接アクセスできる。ただしボート設置のため、スペースはかなり小さくなっている。また後部は、オープンエアで椅子テーブルが並んでいるため一体的に利用できる。

ミノアンラインでもそうだったが、アルコールを飲んでいる人は少ない。

⑯ ショップその他

品揃えは多くない。船ファンが欲しがるようなオリジナル品もなかった。

⑰ 下船

6 時に入港すると、18 時に次のお客様が乗ってくるまで時間はあるはずだが、ベッドメイクのため下船をうながされる。下船の際は、エスカレーターは使わず、階段で降りる。

最後に

きそが日本を離れて 20 年近くなるが、まだまだ健在の印象だ。

(原稿はスマホで作成のため、写真は数も少なくキャプションもないが、私の facebook の 10 月 19、20 日に多数載せているので、興味のある方はご覧いただけます。)

クノッソスパレス

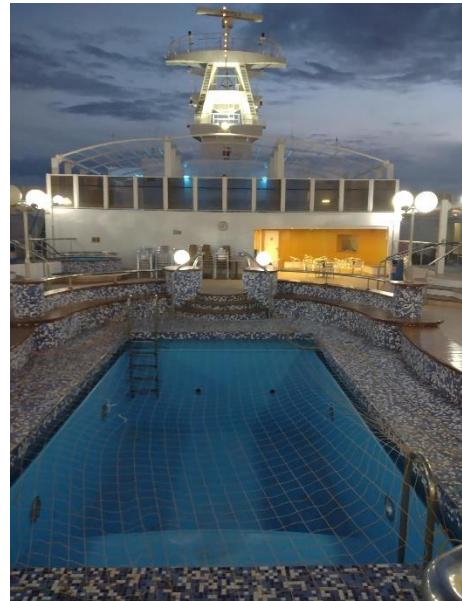
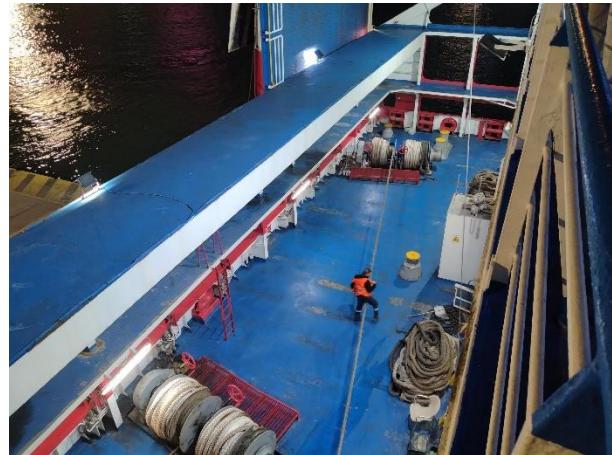
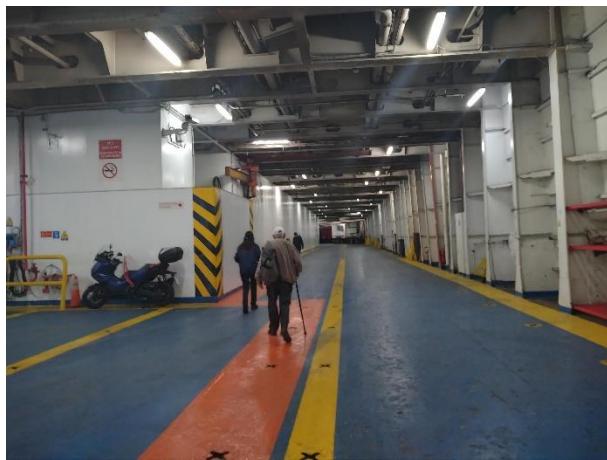




<b>H/S/F KNOSSOS PALACE</b>	
Διεθνές Σήμα Κλήσης / International Call Sign	SVDJ4
Μήκος (μ.) / Length (m.)	214
Πλάτος (μ.) / Breadth (m.)	26,40
Υπηρεσιακή Ταχύτητα (Κόμβοι) / Service Speed (Knots)	26,5
Αριθμός Επιβατών / Number of Passengers	1898
Αριθμός κλινών / Number of Beds	644
Χωρητικότητα Αυτοκινήτων / Car Deck Capacity	735 I.X. / Cars & or 135 Φορτηγά / Trucks + 110 I.X. / Cars
Έτος Ναυπήγων / Year of Built	2001
Ναυπηγείο / Shipyard	FINCANTIERI, ITALIA / ITALY

**H/S/F KYDON PALACE**

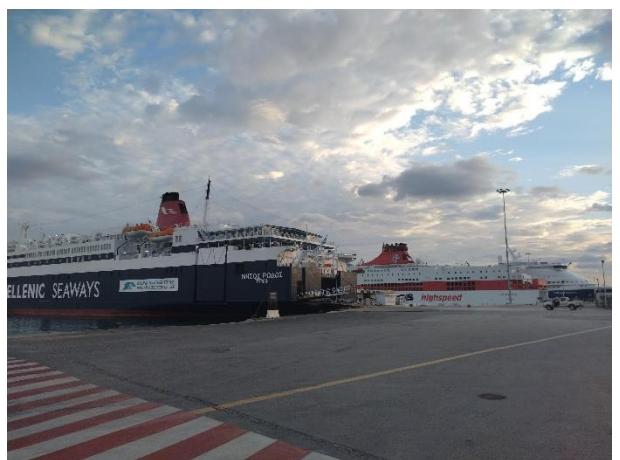
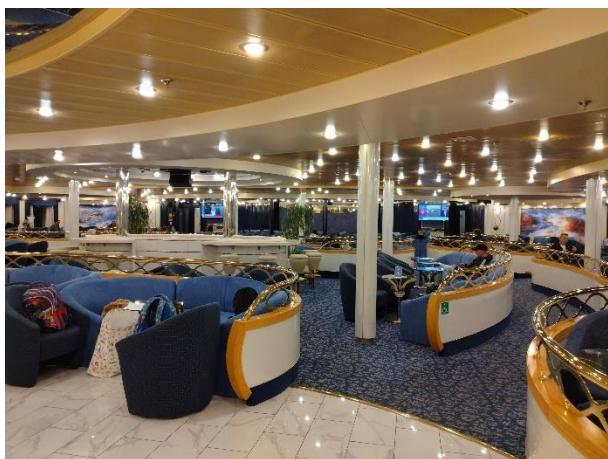




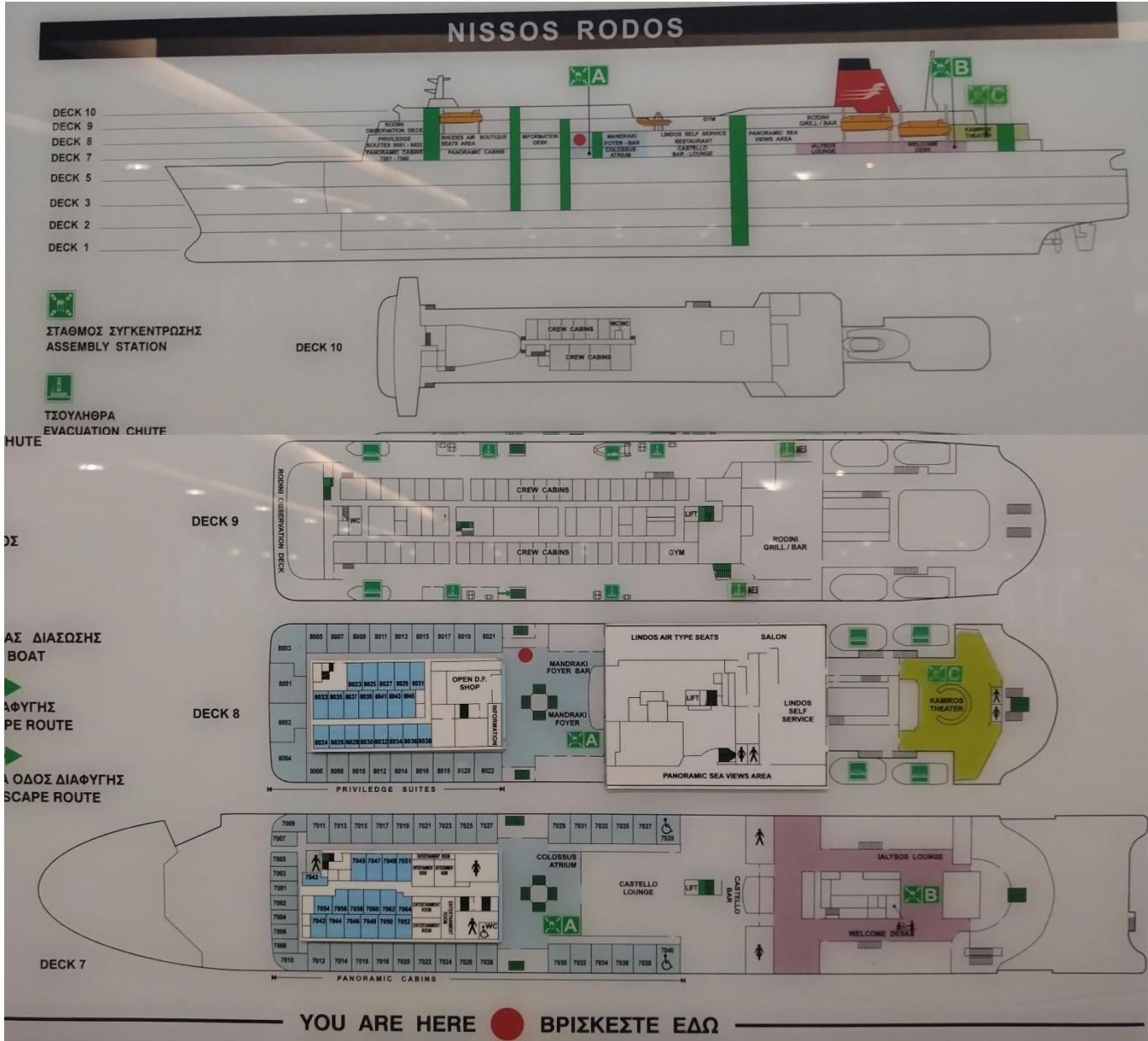
3階車両甲板、8階、7階キャビン。出港シーンの後ろは「きそ」

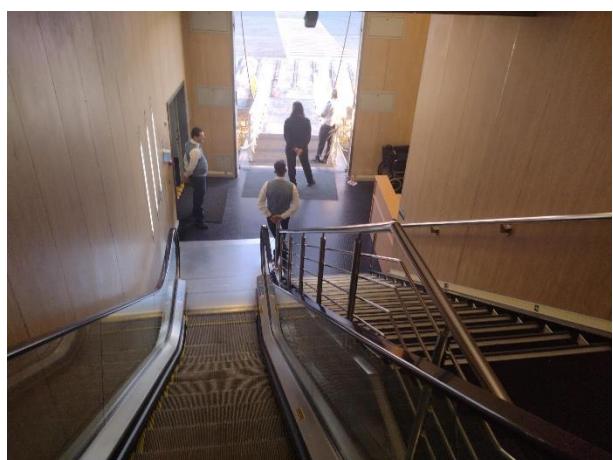
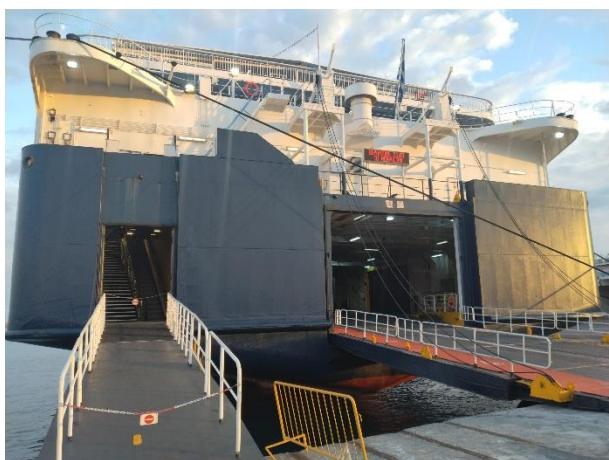


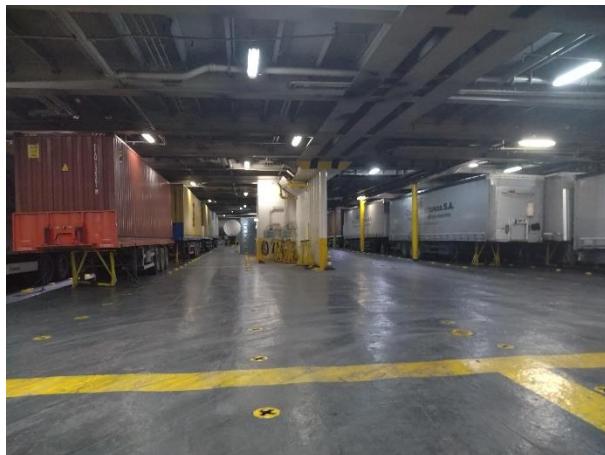
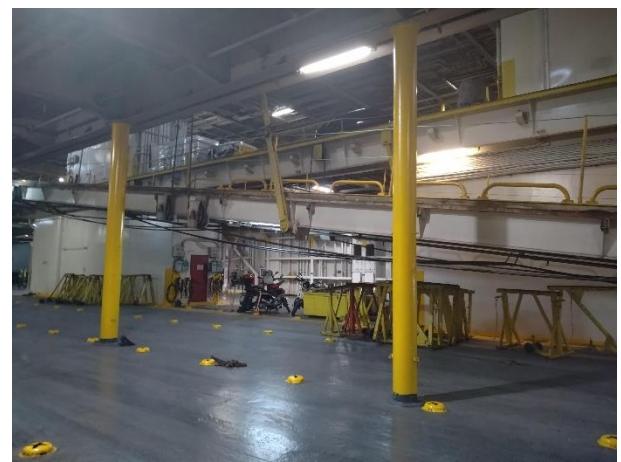
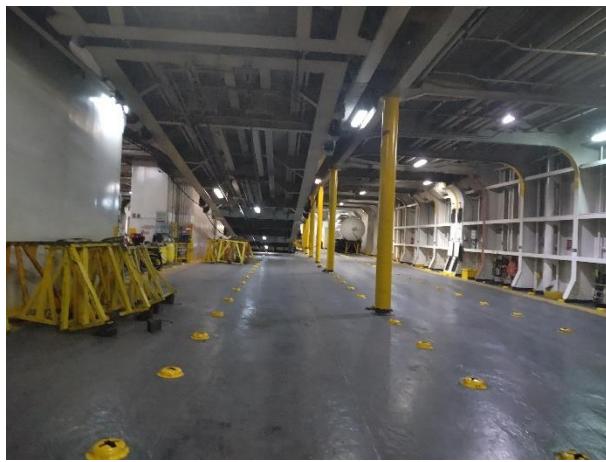
このページより 6 階

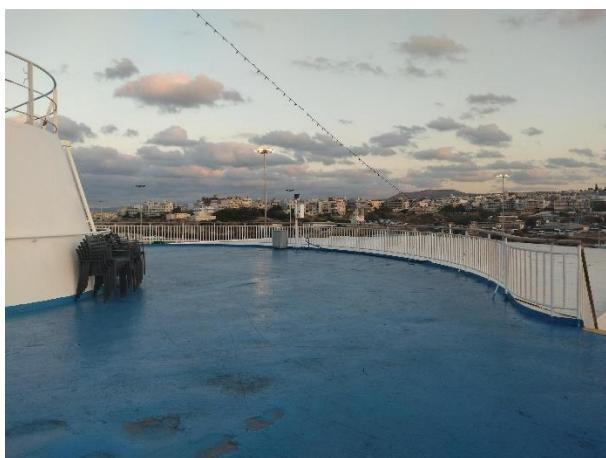


## ニッソスロドス（元きそ）

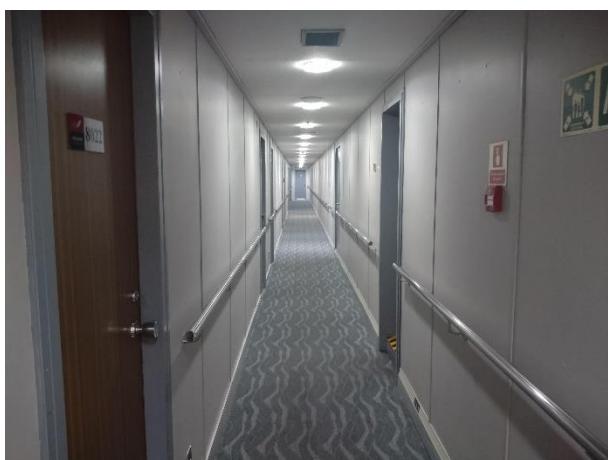


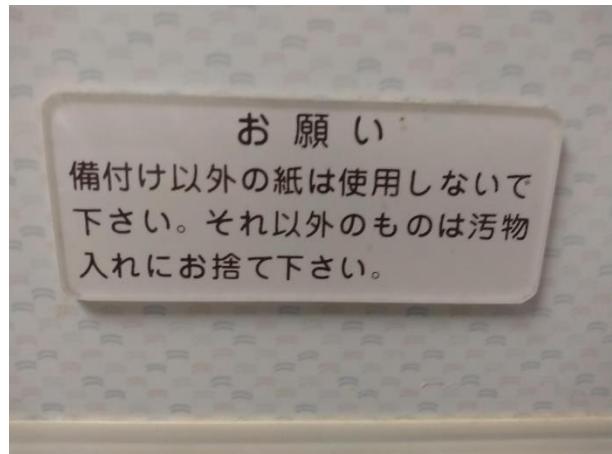
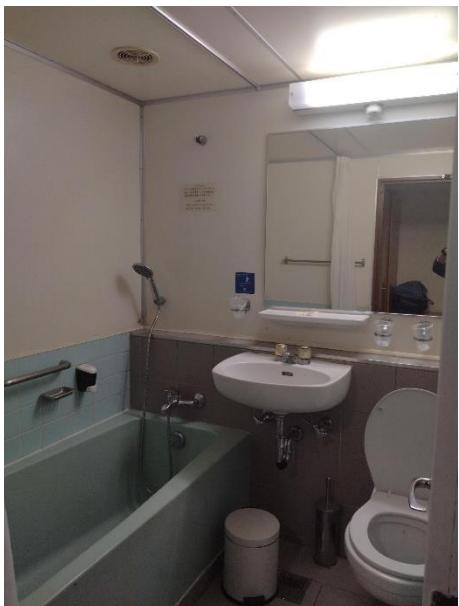


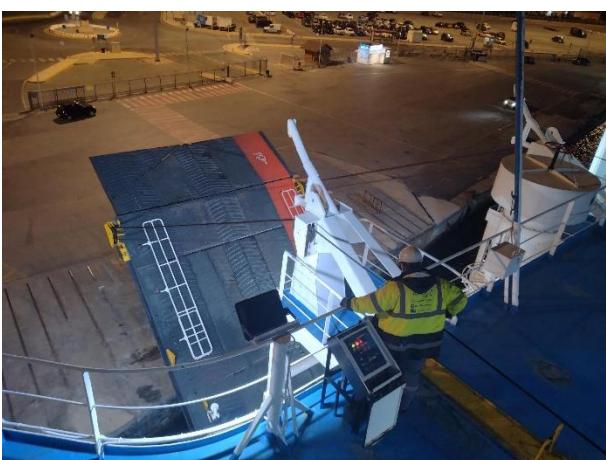
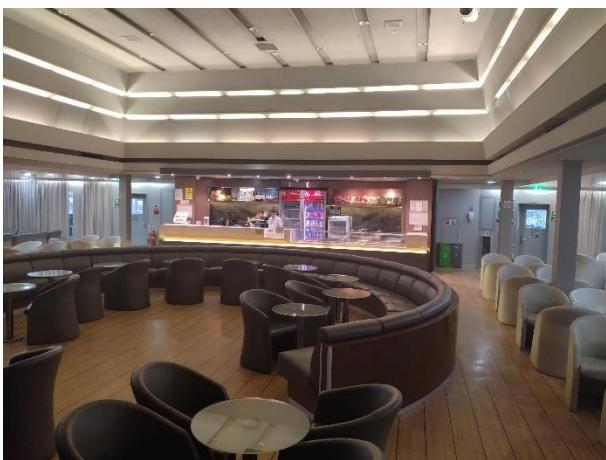
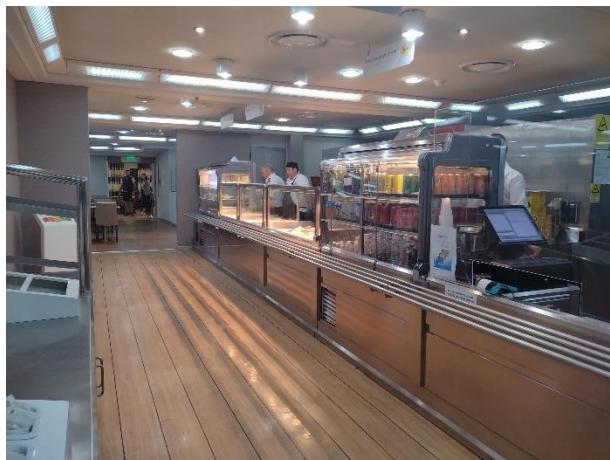




ここまで 6 枚 9 デッキ







ここまで 14 枚 8 デッキ

## ここから 7 デッキ

